

書名 項目	<p style="text-align: center;">新編 新しい技術・家庭 家庭分野</p> <p style="text-align: center;">自立と共生を目指して</p>	<p style="text-align: center;">2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">東 書</div>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○必ず身につけさせたい基礎的な技能を「いつも確かめよう」にまとめたり、知識・技能確実に習得できるよう、工夫されている。 ○題材を系統的に学ぶ流れで構成され、繰り返えし学習することで、知識・技能の定着を図る工夫がされている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各内容の導入は見開きで構成し、課題設定の記入欄を設けている。写真やイラストで生徒の関心を高めたり、見方・考え方の例を示して、問題解決的な学習に結びつくよう工夫されている。 ○Warm up の「家庭分野の学習の進め方」では、家庭分野の問題解決的な流れを示し、学習や生活の場での問題解決に生かすことができるよう工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各節の始めに「目標」と「始めの活動」、「学習課題」を掲げ、見通しと課題意識を持って学習を進めるとともに、各節の最後に「生活に生かそう」「まとめよう」を設け、自分なりに学びを見つめ直し、自己調整力を高められるよう工夫されている。 ○脚注に豆知識「せいかつメモ」が掲載されており、生活に関わる事柄について興味関心を持って読むことができる。 <p>＜実践的・体験的な活動の工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な実習例を数多く取り上げ、学校の実態や生徒の個性に応じた実践的・体験的な学習活動が行えるよう、工夫されている。 ○ロールプレイングや漫画等で活動例を示し、学習活動を取り入れやすくしている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真やイラストなどの資料を豊富に用いて、生活の中の身近な例をイメージしやすく工夫されている。 ○実物大写真や折り込みページなど、生徒の興味、関心を高めて深く学べる資料が効果的にちりばめられている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○UD フォントを使用し、可読性を高めるように配慮されている。 ○大きく鮮明な写真や図版を多数掲載し、生徒の学習への意欲を喚起する工夫がなされている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「いつも確かめよう」による知識・技能の習得や実習の流れが確認しやすい構成により、生徒自ら生活の中で実践しやすく、評価の観点に繋げやすい流れになっている。 ○実物写真の充実により、生徒が身近な生活の中に課題意識を持つことがしやすく、学習活動に取り入れやすい。 	

書名 項目	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	6 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">教 図</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○「見つめる」「見つめてみよう」「学ぶ」「振り返る」の 4 段階で構成され、「振り返る」で目当ての内容が身についたかチェックできるよう工夫されている。 ○各章の終わりには知識を確認する「学習のふり返し」があり、学びが定着する工夫がなされている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○生徒が自分事として捉えることのできる「見つめてみよう」に取り組むことで、学習と生活を結びつける工夫がされており、生徒の思考力を育むことができる。 ○中学生に身近な実践例や実習例を多数掲載しており、家庭生活に繋げたり、問題解決的な学習の流れを明確に示したりするような工夫がされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○学習内容に関わるインタビューやメッセージの掲載等で実際の社会とのつながりについて考えられるよう、工夫されている。 ○中学生のキャラクターによる問いかけや、身近なテーマによる導入が設けられており、生徒自身の生活の中から課題を見つけられるように構成されている。 </p> <p> <実践的・体験的な活動の工夫> ○生徒や学校の実態に合わせて選択ができるよう、実習例を多数掲載されている。食品群のマークや写真だけでなく、調理の目安時間やアレルギー代替食材の掲載など、安全や衛生への配慮もされている。 </p>	
資 料	<p> ○本文と資料はマークで区分されて、写真やイラスト資料を掲載するなど、レイアウトの工夫がされている。 ○実物大写真やコンピュータでのワークシート作成や食品シール等学習効果を高める工夫がされている。 </p>	
表記・表現	<p> ○鮮明な色使いやユニバーサルフォントによる表記等、見やすさへの配慮がされている。 </p>	
総 括	<p> ○ガイダンス資料の後に内容 A「家族・家庭生活」、内容 B「衣食住の生活」、内容 C「消費生活・環境」の内容の順に配列され、巻末に「生活の課題と実践」の順に掲載されている。 </p>	

書名 項目	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	9 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">開隆堂</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○実習手順は生徒の視線を配慮して、見開きページを使って横に流れる記述で表記し、分かりやすく、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○学習の内容をイメージさせる導入や、内容のまとめりごとの「学習のまとめ」により、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○実験や図解を用いた解説、学習をイメージするタイトルにより、科学的根拠に基づき、視覚的に理解しやすく、学習の見通しが持てるよう工夫されている。 ○各内容の最終章に「持続可能な○○」を設定し、それぞれの内容につながる現代的な課題を取り上げて、自分事として未来を見据えて行動できるよう、工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各内容末や該当ページに、各内容にかかわる仕事に携わる人たちからのコラム「先輩からのエール」を掲載し、様々な職業や見方・考え方に触れ、学びを深められる工夫がされている。 ○導入部分で身近な話題を用いて関心を高めたり、場面ごとに生徒同士意見交換ができるような学習活動を取り入れ、より実践的な態度を養うための工夫がされている。 </p> <p> <実践的・体験的な活動の工夫> ○実習例等の手順を少なく図説を大きくすることで理解しやすく、実践したくなる工夫がされている。 ○実際に調理を行うときの「Q&A」でわかりやすく説明されている。 </p>	
資 料	<p>○本文と資料は「参考マーク」で区別され、右上に学習内容関連写真、ページ下に豆知識が掲載され、レイアウトの工夫がされている。</p>	
表記・表現	<p>○生徒の発達や特別支援を考慮して、UD フォントの使用やカラーバリアフリー、文節が途中で途切れないよう分かち書きが意識されている。 ○タイトル名は学習がイメージでき、課題意識を高める表現になっている。</p>	
総 括	<p>○ガイダンス、A「家族・家庭生活」、B「衣食住の生活」、C「消費生活・環境」の順の内容配列になっており、巻末に「生活の課題と実践」が掲載されている。</p>	